

46.「自分は幸福である」と感じる場所

2012年 11月 1日 社会福祉法人 江刺保育園

2012 年は、あと 1 ヶ月で終わろうとしています。子どもの誕生を契機に様々な体験をなされてきたと思います。その中で大きな喜びがあり、また同時に大きな課題や悩みもあったのではないのでしょうか。私たちが幸せを感じるのはどんな時なのかを考えてみますと、そのほとんどは身近な人間関係の中で幸せを体験するのが一般的なようです。逆に言えば人間関係がうまくいかない時は非常に不幸に思い、悩み苦しみの生活になってしまうのです。

他者との関係の中で生きているのが人間だということなのですが、この人間関係というのが曲者です。それぞれの人たちが生活する人間環境の中で自分の感情や意識と異なる他者が存在すると非常に生き辛さを感じてしまうのです。すべての人が自分と波長が合うということは不可能です。自分がこれらの他者に合わせる事ができるのかどうか問題です。どうしても合わせられないこともあります。その方が多いのかもしれませんが、そして、心が合わせられない時、自分が傷付けられていると思ってしまうこともあるのです。

現代人はこの心を合わせる、意識を合わせるということが非常に苦手なのです。それは子ども時代に集団で濃密に遊ぶ体験をしてこなかったことが大きな原因です。子ども時代の濃密な集団遊びが心を合わせる能力を養うのです。現在はその体験ができない環境になってしまいました。特に1965年以降から子どもの自由な遊び場がなくなりました。道路は自動車優先になり野山や空き地はほとんど宅地になりました。都会は勿論のこと、地方の町でも子ども達が自由に遊ぶことのできる自然はほとんどなくなってしまったのです。子ども時代に自然の中で、集団で遊び、その中で心を合わせるという人間関係を養い構築してきたのです。小学校に進むと教育は子ども達に競争を意識付け、中学や高校では受験戦争と言われるような環境で私たちは育ってきたのです。否応なしに周りの同級生は全てライバルになってしまったのです。こんな中で良い人間関係ができるはずはありません。

私たちにできることはなんなのかを考えなければなりません。人間関係が大切ではないということではないのですが、人間関係に固執しないことです。この狭い人間関係の中から飛び出すことです。たかが人間関係だと思ふことです。自分が仲良くできる人と仲良くすればいいのです。すべての人と良い関係になることなど不可能です。自分はどこに立って生きるのかを見つけ出すことが必要です。他者の気持ちに左右されず自分は自分だという強さ、逞しさが求められます。幸せを人間関係にだけ求めるのではなく、別の世界に求めることが大切なことです。花鳥風月のような自然の中に幸せを感じる心を持つことも良いでしょう。学校に入る前の幼い子供たちは自然です。自然の命です。子ども達の中に自分の幸せを見つけ出すことはとても良いことです。そしてこれは自分自身を励まし、力づけてくれる存在になるはずで



ブロッコリーと笹身のケチャップ炒め

《材料と分量》

ブロッコリー 1/2 株 (150~200g)、
鶏笹身 80g、玉ねぎ 1/2 個
トマトケチャップ 大さじ 2
サラダ油 少々

《作り方》

- ① ブロッコリーは小房に分け塩少々を入れた熱湯で茹でる。
- ② 笹身と玉ねぎは食べやすく切る。
- ③ フライパンに油を少々ひき②を炒める。
- ④ 火が通ったらケチャップで味付けし茹でたブロッコリーを混ぜ完成。

